

Meiji
GAKUIN
UNIVERSITY



明治学院大学

マスコミ関係各位

2017年3月13日

明治学院大学 国際学部附属研究所共催 国際シンポジウム
メコン地域と日本をつなぐ人身取引問題を考える
私たちの役割とは何か？

3月24日（金）開催 入場無料・申込不要・逐次通訳あり

明治学院大学国際学部附属研究所は、国際シンポジウム「メコン地域と日本をつなぐ人身取引問題を考える ～ シーフード・サプライチェーン、“被害者”支援と当事者運動、そして私たちの役割」を3月24日（金）、白金キャンパスで開催します。

今回のシンポジウムでは、メコン地域における国を超えた労働搾取型の漁船での人身取引と、“被害者”の人身取引後の生活再建について考えます。（報告は日本語とタイ語で行なわれ、逐次通訳が入ります。）

第1セッションでは、インドネシア沖からの帰国支援や生活再建支援を担ってきたNGO団体 Labor Rights Promotion Network 代表のソンポン氏を招き、タイ、ミャンマー、カンボジアの漁船労働者の人身取引問題における被害者への支援とエンドユーザーである私たち＝消費者の役割を考えます。

第2セッションでは、外国で人身取引に遭った被害者の生活再建など、社会再統合支援について、当事者・支援者・国際協力の視点から議論します。

ぜひ本セミナーの告知ならびに取材をご検討ください。どうぞよろしくお願いいたします。

国際シンポジウム 「メコン流域と日本をつなぐ人身取引問題を考える
～シーフード・サプライチェーン、“被害者”支援と当事者運動、そして私たちの役割」

■日時：2017年3月24日（金）13:00～17:30

■入場：無料、事前申込不要 ※逐次通訳あり ■定員：150名

■場所：明治学院大学 白金キャンパス 2号館 2302教室（東京都港区白金台1-2-37）

■内容：＜開会の挨拶と趣旨説明＞

「メコン地域での人身取引動向とその対策—“被害者”認知と社会再統合支援」 齋藤百合子（国際学部准教授）

＜第1セッション＞ シーフード・サプライチェーンにおける人身取引問題

「タイ、ミャンマー、カンボジアの漁船労働者の人身取引問題とその後」 ソンポン・サケーオ（LPN代表）

「タイ漁業における人身取引研究と国際的な動向から」 坪田建明（アジア経済研究所研究員）

「人身取引課題と市民的関与—どのように伝えるか」 小野行雄（草の根援助運動事務局長、高校教員、法政大学兼任講師）

＜第2セッション＞ 元“被害者”の社会再統合の課題

「タイに帰国した被害当事者のピアサポート活動」 バタピマツ・ウィーチョクチャセーン（Live Our Lives コーディネーター）

「人身取引被害者支援者の能力強化活動：タイ JICA プロジェクトの事例から」 百生詩緒子（国際協力機構長期専門家）

「ホスト国における人身取引、DV被害サバイバーの生活再建について」 新倉久乃（特別活動法人女性の家サーラー理事）

■主催：科研プロジェクト「アセアンにおける人身取引対策」／人身取引研究会

■共催：明治学院大学国際学部附属研究所 共同研究『企業の社会的責任と市民の社会的関与の研究』

■お問合せ：明治学院大学国際学部附属研究所 TEL 045-863-2267 <http://www.meijigakuin.ac.jp/~iism/>

取材のお問い合わせは… 明治学院大学 総合企画室広報課 担当：田村・圓道

〒108-8636 東京都港区白金台1-2-37 Tel:03-5421-5165(直通) Fax:03-5421-5185

koho@mguad.meijigakuin.ac.jp <http://www.meijigakuin.ac.jp>